

平成24年度

# 海外福岡県人会子弟招へい事業

◎期間 平成24年7月6日(金)~17日(火)

◎主催 海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

# Contents

目次

はじめに	2
知事あいさつ	3
概要	4
参加者名簿	5
全体プログラム日程	7
プログラム内容	8
参加者等の感想	12
事業の総評	13
参加者レポート／子弟	14
参加者レポート／引率者	25
参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	31
福岡県の海外県人会について	37
実施要綱	38

# Foreword

---

## はじめに

平成24年度海外福岡県人会子弟招へい事業には、7カ国10県人会から29名の皆さんが参加されました。

当事業は今年で5年目を迎え、これまでに15県人会から子どもたちを福岡へお迎えすることができました。

参加者の皆さんは、太宰府天満宮や小倉城の視察、梅ヶ枝餅作りや和太鼓、手すき和紙でのうちわ作りなど様々な日本文化を体験したほか、那珂小学校と自由ヶ丘南小学校では、授業に参加させていただき、同世代の子どもたちと一緒に日本の小学校生活を体験することができました。また、親戚宅にホームステイをした子どもたちは、親戚との交流を深めて、自分たちのルーツである福岡について学ぶことができました。

このプログラムを通して、子どもたちは、日本の文化、生活、習慣に触れ、また福岡の魅力を肌で感じたことで、以前にも増して福岡県に対する興味が深まったものと確信しております。これを契機に、参加者の皆さんが、もっと日本語や日本文化を勉強したい、もう一度福岡に来たいという思いを強くしてくれることを願っております。

また、参加者の皆さんが、本事業で得た経験を大切に、将来母国の県人会で中心的存在となり、日本・福岡県との更なる友好親善のために活躍していただくことを心から期待しております。

最後に本事業の実施にあたり、ご協力いただきました海外福岡県人会、福岡県移住者子弟留学生、ホストファミリーの皆様及び関係機関に、心から御礼申し上げますとともに、この事業の今後更なる発展にご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成24年12月

海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

実行委員長 田中俊太

# Message

## ごあいさつ

福岡県の海外移住の歴史は、1885年のハワイ移住から始まりました。

移住された方々は、気候風土、生活習慣や言葉などが異なる環境の中で、多くの困難を克服されてきました。そして、今日では、さまざまな分野で活躍され、移住先の国において確固たる地位を築かれるとともに、日本・福岡のよき理解者として本県と移住国の相互理解、友好関係の構築に大きく貢献されています。



「海外福岡県人会」は、現在、世界9カ国、21カ所に設置されています。本県を理解し応援していただく県人会は、本県と移住国との交流の懸け橋であり、貴重な財産です。

県人会では、移住から長い年月が経過して世代交代が進み、活動の中心が日本の文化や習慣などになじみが薄い世代へと移りつつあります。県人会のますますの発展、本県と移住国との交流の促進のため、次代を担う後継者の育成が大変重要となっています。

そのため、本県では、県人会会員の子弟を留学生として県費で受け入れる事業を昭和41年から実施しています。本年9月1日、200名を超える県費留学の経験を有する方々による「ブラジル福岡県人会県費留学生OB会」が設立され、大変うれしく、心強く思っています。

また、平成20年度から、「海外福岡県人会子弟招へい事業」として、世界への関心や好奇心が高まる時期である10代前半の県人会子弟を福岡に招へいし、日本文化の体験や同年代の子どもたちとの交流を通して、福岡に対する興味・関心を持ち、理解を深めていただいています。参加した子どもたちが、滞在期間に福岡への愛着をさらに深め、内面的にも成長して帰国したという話などを聞き大変うれしく思っています。

また、子どもたちが、福岡県出身者の子弟であることを誇りに思い、将来県人会活動の中核的存在として本国と福岡県のために、大いに活躍していただくことを期待しています。

平成25年には、本県で第8回海外福岡県人会世界大会が開催され、世界の海外福岡県人会の方々が一堂に会します。本県と海外福岡県人会との絆がさらに強くなることと思います。

「海外福岡県人会子弟招へい事業」の実施に当たりご協力いただきました皆さんに深く感謝を申し上げますとともに、若い世代の育成に引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。

平成24年12月

福岡県知事 小川 洋



# Outline

## 概要

### 1 目的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

2 期間 平成24年7月6日(金)～17日(火)

3 招へい者人数 7カ国29名 【内 訳】子弟19名、引率者10名

国名	子弟招へい者数	引率者数
ブラジル連邦共和国	6	2
ボリビア多民族国	1	1
コロンビア共和国	1	1
アルゼンチン共和国	1	1
ペルー共和国	3	1
カナダ	1	1
アメリカ合衆国	6	3
合計	19	10

### 4 内容

#### (1) 同年代の子どもたちとの交流

自由ヶ丘南小学校、那珂小学校、竹下太鼓との交流

#### (2) 福岡の魅力に触れる

福岡市内視察(福岡市民防災センター、博多祇園山笠見学)、トヨタ自動車九州工場見学、北九州市内視察(小倉城見学)、太宰府天満宮見学等

#### (3) ルーツを探る

親戚宅、ボランティア宅へのホームステイ

#### (4) 日本文化の体験

日本語学習、手すき和紙のうちわ作り、梅ヶ枝餅作り、和太鼓体験

### 5 主催

#### 「海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会」

構成団体：福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課、福岡県新社会推進部青少年課、  
福岡県教育庁教育振興部義務教育課、(財)福岡県国際交流センター

事務局：(財)福岡県国際交流センター

共 催：宗像市

後 援：(財)サニックススポーツ振興財団

# Member List

## 参加者名簿

【参加者】 7カ国10県人会から子弟19名、引率者10名が参加しました。

No.	県人会名	引率 ／ 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル 福岡県人会	子弟	満生 ラリッサ 千恵	女	ブラジル
2			中尾 龍太 エリキ	男	
3			江藤 ルッカス ユウジ	男	
4			馬場 マテウス 健一	男	
5			松本 香 メリッサ	女	
6			石川 留理 ベアトリス	女	
7		引率	斉藤 渡邊 ジュリアナ	女	
8			清水 エステバン 博史	男	
9	ペルー 福岡クラブ	子弟	イノウエ ソベネス ダニエル エンリケ	男	ペルー
10			イサヤマ サトウ メラニー アリッサ	女	
11			ワタナベ オシロ ニコラス ハルオ	男	
12		引率	田中 マリア	女	
13	コロンビア 福岡県人会	子弟	矢部 なおみ	女	コロンビア
14		引率	嶋田 アドリアナ	女	
15	在ボリビア 福岡県人会	子弟	川波 幸恵	女	ボリビア
16		引率	川波 リサ	女	
17	アルゼンチン 福岡県人会	子弟	津留 フェデリコ 和也	男	アルゼンチン
18		引率	谷口 パトリシア	女	
19	バンクーバー 福岡県人会	子弟	片山 イヴ こころ	女	カナダ
20		引率	片山 七	女	
21	南加福岡県人会	子弟	的野 翔	男	
22		引率	井上 清美	女	
23	サンフランシスコ福岡県人会	子弟	マイヤーズ ミケーラ	女	アメリカ
24	ハワイ 福岡県人会	子弟	イノウエ ヒロミチ ガレット	男	
25		子弟	ルズスキー ニコール	女	
26		引率	諫山 皓一	男	
27		子弟	能丸 紘右	男	
28	ハワイ島 福岡県人会	子弟	イワサキ ジェイラス	男	
29		引率	フジヤマ スタンリー	男	

## 【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	平山 英子 カロリナ	女	ブラジル
2		樋口 ミシェル 優一	男	
3		中尾 カロリーネ きみえ	女	
4	トメアスー福岡県人会	稲田 美穂 ナージャ	女	
5	在ボリビア福岡県人会	川波 一幸	男	ボリビア
6	コロンビア福岡県人会	小椋 恵子	女	コロンビア
7	アルゼンチン福岡県人会	原田 ミカエラ	女	アルゼンチン
8	ペルー福岡クラブ	タナベ グティエレス アルド	男	ペルー
9	南加福岡県人会	山本 ケリー 真由美	女	アメリカ
10	サンフランシスコ福岡県人会	立花 操	女	

「福岡県移住者子弟留学生とは」… 専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

## 【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

A グループ	子弟：満生 ラリッサ 千恵 松本 香 メリッサ 石川 留理 ベアトリス	引率者：斉藤 渡邊 ジュリアナ 留学生：樋口 ミシェル 優一 稲田 美穂 ナージャ
B グループ	子弟：中尾 龍太 エリキ 江藤 ルッカス ユウジ 馬場 マテウス 健一	引率者：清水 エステバン 博史 留学生：平山 英子 カロリナ 中尾 カロリーネ きみえ
C グループ	子弟：イノウエ ソベネス ダニエル エンリケ イサヤマ サトウ メラニー アリッサ ワタナベ オシロ ニコラス ハルオ 矢部 なおみ	引率者：田中 マリア 嶋田 アドリアナ 留学生：タナベ グティエレス アルド 小椋 恵子
D グループ	子弟：川波 幸恵 津留 フェデリコ 和也	引率者：川波 リサ 谷口 パトリシア 留学生：川波 一幸 原田 ミカエラ
E グループ	子弟：的野 翔 イノウエ ヒロミチ ガレット ルズスキー ニコール	引率者：井上 清美 諫山 皓一 留学生：山本 ケリー 真由美
F グループ	子弟：片山 イヴ こころ マイヤーズ ミケーラ 能丸 紘右 イワサキ ジェイラス	引率者：片山 七 フジヤマ スタンリー 留学生：立花 操

# Schedule




## 全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所
7/6(金)		入国	グローバルアリーナ
7(土)	午 前	オリエンテーション	グローバルアリーナ
	午 後	那珂小学校での発表の準備	
	夜	七夕祭り参加	
8(日)	終 日	青少年グループとの交流	グローバルアリーナ
9(月)	午 前	県知事表敬	グローバルアリーナ
		県議会議長表敬	
	午 後	太宰府天満宮見学	
	夜	歓迎会	
10(火)	終 日	那珂小学校との交流	グローバルアリーナ
		茶道体験	
		竹下太鼓との交流	
11(水)	午 前	トヨタ自動車九州工場見学	グローバルアリーナ
	午 後	小倉城見学等	
12(木)	午 前	自由ヶ丘南小学校との交流	グローバルアリーナ
	午 後	福岡市民防災センター見学	
13(金)	午 前	八女伝統工芸館見学	グローバルアリーナ
	午 後	福岡市内見学	
14(土)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
15(日)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
16(月・祝)	午 後	送別会	グローバルアリーナ
		引率者会議	
17(火)		出 国	

# Program






## プログラム内容

平成24年7月6日(金)~17日(火)

<p>第1日目</p>	<p>6日(金) ~ 7日(土)</p>	<p>◎入国 7カ国(ブラジル・ペルー・コロンビア・ボリビア・アルゼンチン・カナダ・アメリカ)から子弟19名、引率者10名が来福しました!</p>
<p>第2日目</p>	<p>7日(土)</p>	<p>◎午前:オリエンテーション 参加者とスタッフの自己紹介のあと、滞在中のスケジュールや諸注意を確認して、福岡県や日本のマナーについても一緒に学習しました。みんな、日本語で上手に自己紹介ができました。</p>  <p>◎午後:那珂小学校での発表準備、グローバルアリーナでの七夕祭り参加 7月10日に訪問する那珂小学校で、各国や各県人会の紹介と移住について話をしてもらうため、発表資料をみんなで作りしました。また夜には、宿泊先のグローバルアリーナで開催された、七夕キャンドルイベントで、天の川にみたてて並べられたキャンドルに点灯する作業のお手伝いをしました。</p>  <p style="text-align: center;">発表準備 <span style="margin-left: 200px;">七夕キャンドルイベント</span></p>
<p>第3日目</p>	<p>8日(日)</p>	<p>◎終日:青少年グループとの交流 グローバルアリーナで、ガールスカウトと玄海ジュニアラグビーチームの子どもたちと一緒に、日本食作りや日本の遊びを通して交流をしました。宗像市吉武地区コミュニティ運営協議会と正助ふるさと村のスタッフの方々にもご協力をいただき、楽しく日本文化を学ぶことができました。</p>  <p style="text-align: center;">竹鉄砲作り <span style="margin-left: 100px;">竹馬にチャレンジ!</span> <span style="margin-left: 100px;">そうめん流し</span></p>

<p>第3日目</p>	<p>8日(日)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">おにぎりを作りました                      スイカ割り                      ガールスカウトと玄海ジュニア ラグビーチームの皆さんと一緒に</p>
<p>第4日目</p>	<p>9日(月)</p>	<p>◎午前：小川洋福岡県知事表敬訪問・松本國寛福岡県議会議長表敬訪問</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">小川知事と記念撮影                      松本議長、新村副議長と記念撮影</p> <p>◎午後：太宰府天満宮見学</p> <p>学問の神様として有名な菅原道真が祀られている太宰府天満宮を、みんなで参拝しました。また、太宰府館では、太宰府を代表する梅ヶ枝餅作りを体験しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">太宰府天満宮にて                      梅ヶ枝餅作り体験</p> <p>◎夜：歓迎会</p> <p>歓迎会には、福岡県海外移住家族会の武藤英治会長をはじめ、家族会員の皆さんにもご出席いただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">武藤会長                      参加者代表挨拶                      出席者の皆さんと</p>



<p>第5日目</p>	<p>10日(火)</p>	<p>◎終日:那珂小学校との交流</p> <p>七夕飾りを作ったり、掃除や書道の体験をしたり、小学1年生のクラスでは、一緒に給食を食べたりしました。また、各国、各県人会の紹介と移住について発表をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>各県人会からの発表</span> <span>書道</span> <span>給食</span> </p> <p>◎夕方:茶道体験、竹下太鼓グループとの交流</p> <p>那珂小学校に隣接している公民館で、茶道を体験しました。慣れない正座に苦戦しながら、先生に作法を覚えていただき、自分たちでお茶を点てることができました。その後、竹下太鼓グループの皆さんに教えていただきながら、和太鼓演奏を体験しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>茶道体験</span> <span>和太鼓体験</span> </p>
<p>第6日目</p>	<p>11日(水)</p>	<p>◎終日:トヨタ自動車九州工場見学、北九州市内見学</p> <p>トヨタ自動車九州工場で自動車の製造工程を見学しました。午後からは小倉城を見学しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>自動車工場見学</span> <span>小倉城にて</span> </p>
<p>第7日目</p>	<p>12日(木)</p>	<p>◎午前:自由ヶ丘南小学校との交流</p> <p>5年生の皆さんと、ゲームやダンスで交流したり、図画工作の授業に参加して、伝統民芸のパタパタを作りました。また、給食後は地域のボランティアの方々にバルーンアートを指導していただき、犬やうさぎのバルーンを作る体験をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>伝統民芸のパタパタ作り</span> <span>バルーンアート</span> </p>

第7日目	12日(木)	<p>◎午後:福岡市民防災センター見学</p>  <p>震度6の揺れを体験しました</p> <p>消防士のユニフォームを試着</p>
第8日目	13日(金)	<p>◎午前:八女伝統工芸館</p> <p>様々な草花を使って、それぞれがオリジナルの手すき和紙のうちわを作りました。</p>  <p>紙すき</p> <p>みんな上手に作れました</p> <p>◎午後:福岡市内見学</p> <p>中洲川端商店街などを訪れ、博多祇園山笠も見学しました。</p>  <p>飾り山</p> <p>集団山見せを見学</p> <p>飾り山の前で</p>
第9日目	14日(土)	◎終日:ホストファミリーとの交流
第10日目	15日(日)	◎終日:ホストファミリーとの交流
第11日目	16日(月・祝)	<p>◎午後:送別会</p> <p>ホストファミリーの皆さんと参加者がそろい送別会を行いました。</p>  <p>人會子弟招へい事業 送別会</p> <p>参加者代表挨拶</p> <p>海外福岡県人会子弟招へい事業 送別会</p> <p>ホストファミリーと記念撮影</p>
第12日目	17日(火)	◎帰国 12日間のプログラムを終えて、全員無事に帰国しました。



# Comments

## 参加者等の感想

### 子どもたちからの感想

- 日本の小学校の習慣を知ることができて、自国の小学校との違いがわかった。
- ホームステイでは、日本に住む親戚と会えて、自分との縁が良くわかるようになった。
- これからは日本語を一生懸命勉強して、次に日本へ行くときは、日本語で会話ができるようになりたい。
- 日本の子どもたちだけではなく、他国からの参加者とも交流ができたので、他国の文化や習慣も知ることができた。
- 曾祖母の故郷である福岡に来て、もっと福岡を好きになった。
- 今まで、遠い国だと思っていた日本が、身近な国に感じられるようになった。
- 福岡がどんなに素晴らしいところかがわかった。

### 保護者からの感想(帰国した子どもの様子から)

- 日本語の大切さを自覚できたようだ。
- 息子にとって、福岡は「父の出身地でおばあちゃんが住んでいるところ」という認識から、自分により関係した場所という印象を持つようになったと感じる。
- 娘は、これまで以上に「高校を卒業したら日本に行きたい」という思いを強く持つようになり、彼女にとって大きな目標ができたようだ。
- 自分に日本人の血が流れていることを誇りに思うようになり、日本文化を理解するようになってきた。
- 言葉は通じなくても、他国の子どもたちとの交流や日本との文化、習慣の違いなど、多くのことを学んで帰って来た。
- 息子は、福岡から戻って以降、日常生活において日本語をよく使うようになった。

### 引率者からの感想

- 行く先々で素晴らしい歓迎を受け、プログラムもとても良く計画されており、食事もおいしく満足だ。
- 福岡県は私の祖父母の故郷であり、私にとっては特別な場所だ。「福岡県に来た」のではなく、「久しぶりに福岡県に帰ってきた」という気持ちになり、とても嬉しかった。
- 私たちのルーツがある福岡を忘れることなく、子どもたちに伝えていかなければならないと、心から痛感したプログラムだった。
- 多くの仲間ができ、その仲間を通して他国の福岡県人会の運営方法や、後継者育成問題への取組みなどに関する情報交換ができた。

# Evaluation

## 事業の総評

この事業は、参加した子どもたちが、①同年代の子どもたちと交流する ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化を体験する等を経験することで、福岡・日本に対する興味・理解を深め、将来は県人会活動を推進するリーダーに育ててもらうことを目的としている。

今年度の参加者数は、7カ国10県人会からの29名で、今回初めてカナダから参加があった。引率者の中には、過去に県費留学生として来福したことがある参加者もいて、留学生生活を終えて帰国した後も、福岡県との繋がりを持ち続けていることがわかる。

また、期間中に開催した引率者会議では、各福岡県人会の運営方法や後継者育成問題への取組みなど、さまざまな情報交換ができた。平成25年に福岡県で開催される「第8回海外福岡県人会世界大会」についての各県人会からの意見も聞くことができ、これからの準備において大いに役立つ意見が寄せられた。

今回は那珂小学校において、引率者の方々を中心に、各県人会や各国の移住の歴史などについて、日本の小学生に発表する時間を設けた。福岡県にルーツを持つ人々が世界各国に住んでいることを初めて知ったという小学生もいて、日本の小学生にとっても勉強になったとの感想をいただいた。

ホームステイについては、日程の都合上、昨年より1泊少ない2泊3日間であったため、もう少し長くホームステイをしたかったという感想が多かった。しかし3日間という短い期間であっても、親戚や知人宅等で過ごした参加者たちは、先祖のお墓参りに行ったりして、自分たちのルーツが福岡県にあることを再認識できたようだ。

本プログラムは、各県人会から福岡県に1年間留学をしている福岡県移住者子弟留学生にとっても、日本の文化や習慣を知る上で有意義なものとなっており、子どもたちのお兄さん、お姉さんとして、身の回りの世話や言葉のサポートをすることで、子どもたちの大きな支えにもなっている。今年は6カ国8県人会から10名の留学生が来ており、例年よりも多い人数で参加者をサポートしてくれた。子どもたちも彼らと触れ合うことで、日本語をもっと勉強して将来留学生として福岡県に戻りたいという夢を持って帰国した子どもたちも多かった。

各県人会からは、参加した子どもたちが帰国後、家庭で日本語を積極的に話すようになり、太鼓等の日本文化について、関心を高めているという報告を多く受けている。この事業成果が一過性のものにならないよう県人会や福岡県海外移住家族会等と連携しながら、参加者が次世代の県人会の担い手として育つようフォローアップしていくことが重要である。

# Report

参加者レポート

**【子弟】**

A  
グループ

満生 ラリッサ 千恵

Mitsuiki Larissa Tie



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本の小学校はブラジルの小学校とは形式が違い、とても参考になりました。また、うちの作り方を見ることができ、自分でも作ることができたので、とても面白かったです。小倉城の見学は、大変印象的でした。そして、ホームステイでは日本に住む親戚と会えて、自分との縁が良く分かるようになりました。

このプログラムで、興味深いことをたくさん見たり聞いたり体験することができました。スケジュールはどれを通して、日本の文化に関わりがあり、もっと知りたいと思わせるものでした。他の子どもたちにもこのプログラムへの参加をすすめたいです。

## ～親御さんからのメッセージ～

帰国後すぐに祖父母の家へ自ら挨拶へ行ったり、以前は母親任せだった荷物の整理やお土産の配当など、まめに行いました。約束通り日記も書いていたし、好き嫌いがはっきりしている子なので、面白かったことや嫌だったことを感じたとおりに話してくれました。私どもは、プログラムの趣旨に沿って、ホームステイでは祖父の出生地訪問や親族との面会にポイントを置いていただき、日本の日常家庭生活を体験できるよう家では特別扱いをなるべく避けていただくよう、ホストファミリーへお願いをしました。結果としては、望みをはるかに上回り、とても充実した日々になったようで、交流事業の意義を実感として受けた次第です。娘も責任感がより一層育ったようで、以前は「ママ」の呼び声が耳に響いてなりませんが、それもはるかに減りました。独立心も一歩前進したかと思えます。ありがとうございました。プログラムのご発展を心よりお祈り申し上げます。

A  
グループ

松本 香 メリッサ

Matusmoto Kaori Melissa



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回の日本への旅は、忘れられないものになりました。他国の人たちに会い、新しい友達を作ることでもできて、とても嬉しかったです。想像もしなかった素敵な場所に行ったり、美味しい食べ物を食べたり、七夕祭りに参加したり、楽しい経験がたくさんできました。また、この短い期間で、新しい文化、教育、規律を学ぶことができました。

そして、県費留学生たちには、多くのことを助けてもらいました。これからは一生懸命に勉強をして、将来県費留学生として、福岡に戻りたいと思います。このプログラムに参加する機会に恵まれたことに感謝し、今回体験したことは決して忘れません。

## ～親御さんからのメッセージ～

娘は、日本文化、町の様子、日本の教育制度にとっても感銘を受けて帰ってきました。今では自分が日本人であることを、誇りに思っており、またいつか、福岡へ戻ることを目標に持っているようです。これから一生懸命に勉強して、県費留学生として日本へ戻り、さらに新しい文化を学んで、今回訪問できなかった場所にも行ってみたいと話しています。

A  
グループ

石川 留理 ベアトリス

Ishikawa Lury Beatriz



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで、たくさん友だちができました。一番楽しかったことは、七夕祭りに参加したことで、一番好きだった日本の食べ物は、お好み焼きでした。ブラジルへ戻ってからも、プログラムで知り合ったカナダやペルーの友だちと、連絡を取り合っています。

日本では、少しだけ日本語で話すことができましたが、これからは日本語の勉強をもっと一生懸命頑張ろうと思います。そして、大きくなったら、県費留学生として日本へまた行きたいと思っています。本当にありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムは子どもたちにとって、とても重要な体験となったようです。帰国後、娘は、日本滞在中に楽しかった話をたくさんしてくれました。そして、「私は23歳になったら、日本に留学したい」と言っています。このプログラムに参加したおかげで、彼女は、これからは日本語の勉強に更に力を入れると思います。娘をプログラムに参加させていただき、本当にありがとうございました。

B  
グループ

中尾 龍太 エリキ

Nakao Ryuta Eriki



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

プログラム中は、いろいろな日本文化や日本語、漢字を学んだり、日本食もたくさん食べて、全てが美味しかったです。また、日本に住んでいる親戚にも会うことができ、とても楽しかったです。

このプログラムに参加して、僕は日本が大好きになりました。そして、これからはもっと日本語の勉強を頑張り、いつかまた日本へ留学生として行けるように頑張ります。

## ～親御さんからのメッセージ～

龍太は日本で生まれて、5歳のときにブラジルへ来ました。プログラムに参加する前は、日本にほとんど興味がなく、通っている日本語学校を辞めたいと言い、家の中でも日本語を使わないようになっていました。しかし、プログラムに参加して以来、日本のことにとっても興味を持ち、今では日本語学校に喜んで行くようになり、これからは日本語をたくさん勉強して、将来は日本へ留学したいと言っています。

B

グループ



江藤 ルッカス ユウジ

Eto Lucas Yudi



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加できたことを、とても嬉しく思います。祖父母のふるさとを訪ね、文化や習慣の違いを知ることができました。また、他国から参加した友達とも、言葉は違いましたが、とても楽しく過ごせました。短い日程でしたが、太宰府天満宮、トヨタ自動車九州工場、市民防災センター、小学校などたくさん訪問して、いろいろなことを学びました。特に、小学校では、学校の掃除を生徒たちがすること、また日本の小学生たちは、時間をきちんと守り、とてもお行儀が良かったことに驚きました。

ホームステイでは、親戚のみんなに優しくしてもらい、日本の従兄弟と花火で遊んだり、おじいちゃんが遊んでいた川や勉強していた学校で遊んだりしました。

もっと日本について知りたいので、日本語の勉強を頑張って留学生として戻りたいです。このプログラムをお世話してくれた多くの方々に感謝しています。ありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

息子にとって、家族と離れての初めての旅で、親のほうが緊張しました。祖父母のふるさとを訪ねるチャンスをいただき、言葉は通じなくても、他国の子どもたちとの交流や日本との文化、習慣の違いなど、多くのことを学んで帰ってきました。これからの彼の成長に、プラスとなることでしょう。

今度は、県費留学生として行けるように、日本語の勉強を頑張ると言っています。少しは自分の行動に責任を持つようになったと感じます。このプログラムをお世話くださった多くの皆さまに感謝しています。

B

グループ



馬場 マテウス 健一

Baba Matheus Kenichi



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加して、皆さんと日本の歴史、文化、最新技術を肌で感じることができて、とても良かったので、また日本へ行きたいと思っています。発展した国のきれいな場所を訪れて、日本は清潔で、整理整頓がなされていて、人がとても親切である素晴らしい環境に感心しました。自分の先祖の国を知って、これからはもっと日本の言葉や習慣を勉強したいと思います。

どうもありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

4世の息子が大変お世話になり、どうもありがとうございました。以前は、あまり日本について興味がなかったようでしたが、今は今回経験したことを通して、いろいろなことを話しています。鮭と梅干しのおにぎりがとても美味しかったこと、友達とたくさん遊んで楽しかったことなどが、今では涙が出るほど懐かしい気持ちのようです。そして、また日本へ行きたいのであれば、日本語をもっと勉強しなければならないこともわかったようです。他国の同じ年の子どもたちや留学生と交流して、日本や世界、自分自身について知識を増やし、大きく成長したように思います。





イノウエ ソベネス ダニエル エンリケ  
Ynoue Sobenes Daniel Enrique



【ペルー福岡クラブ】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムのおかげで、今学校で習っている日本語を前より一生懸命勉強しています。また、新しい友達もたくさんできて良かったです。日本の小学生との交流も、言葉が分からなくても一緒に遊んだり、和太鼓を教えてもらったりしてとても楽しかったです。ペルーでも太鼓を習っているので太鼓のことも、もっと好きになりました。ホームステイの時、初めておばあちゃんの家族に会い、少し緊張したけれど、皆優しくて野球の試合を見に連れて行ってもらえて、嬉しかったです。短い期間でしたが、福岡県国際交流センターや県費留学生の皆さん、どうもありがとうございました。このプログラムに参加して本当に良かったです。毎日毎日、一生懸命に勉強をして、将来県費留学生として福岡に戻りたいです！

### ～親御さんからのメッセージ～

ダニエルは、以前から日本の文化や習慣を知りたがっていたし、祖母の福岡にいる家族にも会いたがっていて、日本へ行くことをとても楽しみにしていました。このプログラムに参加してからダニエルは、学校のこともきちんとして、家でも掃除や手伝いなどを率先してするようになりました。学校で苦手だった日本語のクラスも、今では一生懸命勉強しています。新しくできたブラジルの友達と連絡が取れるように、ポルトガル語も勉強したいそうです。このプログラムで、いろいろな国の福岡県人と交流することができて、とても良い経験であり、子どもも一回り成長して帰ってきました。どうもありがとうございました。



イサヤマ サトウ メラニー アリッサ  
Isayama Sato Melanie Alyssa



【ペルー福岡クラブ】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加することができて嬉しかったです。素晴らしい経験でした。おばあちゃんの故郷へ行くことができて、新しい日系人や日本人の友達もできました。日本文化も体験することができて、書道や茶道、折り紙で七夕の飾りを作って、願い事を書いて飾ったりもしました。かわいい浴衣まで着せてもらえました。有名な博多祇園山笠も見学でき、太宰府天満宮でお参りの仕方も教えてもらいました。「勉強ができるようになりますように」とお願いをしました。また、初めて流しそうめんを食べたときは、最初は箸でそうめんをとることが難しかったけれど、とても楽しかったです。スイカ割りも竹鉄砲作りなども、とても楽しかったです。トヨタ自動車の工場見学や、うちわ作り体験も面白かったです。福岡市民防災センターでの消火訓練や地震と台風体験は、とても勉強になりました。茶道体験は、とても気に入ったので、今度おばあちゃんが開いている茶道教室に入ろうと思っています。日本語もたくさん勉強して、次に日本へ行くときは、日本語で会話ができるようになりますようにです。

### ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムに参加したことで、メラニーは日本の文化と習慣を学べただけではなく、自分で何でもやればできることに気づいたようです。日本文化にも興味が沸いてきて、彼女の祖母が教えている茶道教室に参加したいと言っています。また、最近では、日本人のように働き者で親切で良い人にならないと、日本みたいにきれいで近代的な国にすることはできないよといつも話しています。子どもたちにこのような素晴らしい体験をさせていただき、福岡県と福岡県国際交流センターの皆様には感謝しています。



ワタナベ オシロ ニコラス ハルオ

Watanabe Oshiro Nicolas Haruo



【ペルー福岡クラブ】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本の生活を体験することができ、日本の文化や習慣、日本の小学校や福岡の街も見学することができてとても嬉しかったです。竹下太鼓との交流では、初めて和太鼓を叩いて、太鼓の響きが良くて好きになりました。小学校交流では、同じ年の小学生と遊べて楽しかったので、もっと長い時間交流がしたかったです。また、日本の子ども達だけでなく、他国からの参加者とも交流ができたので、他の国の文化や習慣も知ることができました。このプログラムに参加して本当に良かったです。日本文化を更に知ることができたとし、曾祖母の故郷である福岡に来て、もっと福岡を好きになりました。

## ～親御さんからのメッセージ～

ニコラスは帰ってきてから、もっと日本のことに興味を持ったようです。日本の文化や習慣、友達になった子どもたちの国のことも知りたくなったようです。もう一度日本に行って、日本のことをもっともっと勉強したいそうです。



矢部 なおみ

Yabe Naomi



【コロンビア福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回は、私が今まで経験したことのない長い旅でした。今までは両親と一緒にだったので、初めての体験でした。飛行機に乗るのはとても怖かったですが、引率者のアドリアナさんが一緒にいてくれて、いろいろな話をしてくれたので安心できました。

私は、特に日本文化や学校生活、食べ物、日常生活について知りたかったです。このプログラムで2つの小学校を訪れることができ、日本の小学校生活や学習方法を知ることができて、とても良かったです。また、今回参加していた他の国からの子どもたちは、母国語だけではなく、日本語や英語を話せる人もいました。私も多くの人とコミュニケーションをとるために、日本語や英語、ポルトガル語を話せるようになりたいと思いました。次に日本へ行くときには、留学生として福岡へ戻りたいです。どうもありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

彼女は、親から離れての一人旅で、一段と成長し自立心が強くなって帰ってきました。この旅の話をする時の彼女は、とても生き生きとしていて目を輝かせながら楽しそうに話してくれます。娘は、このプログラムに参加したことで、自分への自信と勉学への意欲、そして日本語や英語に興味を抱いたようです。他言語の必要性も実感したようです。福岡県の皆様、このような素晴らしい機会を娘に与えてくださり、心より感謝いたします。そしてこの経験は、これからの彼女の将来に大きな影響を与え続けていく事だと思います。



D  
グループ

津留 フェデリコ 和也

Tsuru Federico Kazuya



【アルゼンチン福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで、いろいろな貴重な体験をすることができました。そのおかげで、今まで遠い国だった日本が、身近な国に感じられるようになりました。小学校での交流や様々な施設の見学を通して、日本文化に触れることができました。また、温かく迎えてくれた親戚との思い出もたくさんできました。ペルーやブラジルなど他国から参加した子どもたちとも友だちになったので、早速メールで連絡を取り合っています。

これからは、もっと日本語を勉強して、普段でも使えるように心がけます。留学は是非日本へ行きたいです。

## ～親御さんからのメッセージ～

この度は、息子が大変お世話になりました。日本の印象を聞くと、見学したことや体験したことなど、楽しかったと話してくれて、日本により親しみをもってくれたように思います。言葉の問題等、少々不安はありましたが、皆さんが丁寧にフォローしてくれたようで感謝しています。また、本人も日系人としての日本語の大切さを自覚できたのではないかと思います。そして、何よりも母県福岡でのこの体験が、息子の今後の成長に大きな影響を与えてくれるのではないかと期待しています。県庁、福岡県国際交流センターの皆様、本当にありがとうございました。

D  
グループ

川波 幸恵

Kawanami Yukie



【在ボリビア福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで一番楽しかったことは、那珂小学校で玉入れや綱引きをしたことです。他にも、八女伝統工芸館での和紙のうちわ作りや、福岡市民防災センターでの地震体験などが印象的でした。

初めはとても緊張していましたが、いろいろな国からの参加者や、日本の小学生たちと知り合うことができ、とても嬉しかったです。

いつかまた福岡へ行きたいです。皆さん、ありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

このたび、娘が初めて親元を離れるということで不安もありましたが、彼女はとても楽しめたようで、私たちもとても喜んでおります。他国からの参加者や日本の方々と触れ合えたことで、娘の視野も広がったように思えます。また、福岡の文化にも興味が芽生えたようです。

このプログラムに参加できたことは、本人にとっても忘れられない大変貴重な体験になったと思います。本当にありがとうございました。

E

グループ



的野 翔

Matono Sho



【南加福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

この12日間、僕は日本でとても素晴らしく楽しい時間を過ごしました。日本の遊びや食べ物、文化に触れて、いろいろな経験をし、日本の事をたくさん学んで帰ってきました。

訪問した2つの小学校では、皆さんと給食を食べて、日本の小学生がどのような食事をしているのか知ることができました。また、初めて和太鼓を叩き、和太鼓は形や大きさが様々で、それぞれが違う役割を果たしていました。また茶道も体験できて、抹茶はとても美味しかったです。市民防災センターでは、消火器の使い方や地震が起きた時どのようにして身を守るか、強風の威力、そして火事の時のように安全に逃げるかなど、災害時の身の守り方を学びました。博多祇園山笠も見学しました。大きな山の上に人が乗り、それを大勢で走りながら引っ張る祭りは、すごかったです。ありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

翔は、親元を離れた事は一度もなく、出発前までは不安だったようで、出発日が近づくにつれ、口数も少なくなっていました。しかし、帰国後は、ハワイをはじめ他国からの参加子弟と友達となれた事、プログラムの様々な内容などいろいろな話をしてくれて、よほど楽しかったのだと思います。結果、息子は自立心が強くなって帰って来ました。また、帰国後すぐに南加福岡県人会のピクニックがあり、彼にもドアプライズの手伝いをしてもらいました。県人会の子弟として、少しずつでも県人会に興味を持って参加し、自発的にイベントの手伝いをしてもらいたいと思います。

E

グループ



イノウエ ヒロミチ ガレット

Inouye Hiromichi Garrett



【ハワイ福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕の先祖の故郷、福岡を訪れる機会をありがとうございました。先祖のルーツを訪ねて福岡に来たのは家族の中でも僕が初めてです。今回、僕は福岡の文化とハワイの文化との違いをたくさん学びました。例えば、お風呂や和式トイレも経験しました。また、麺を食べる時に音を立てて食べるのは、作った人への敬意のしるしであり、また挨拶するときにはお互いにお辞儀をするなどと、僕たちが普段しているようにボディータッチの挨拶はしないのだと学びました。新しい友達もたくさんできたので、みんなと別れるのはとても辛く寂しかったです。皆さん、プログラム中は、何から何まで僕らの面倒を見てくれて本当にありがとうございました。そして僕には世界各国に新しい家族ができました。先祖たちのルーツの場所は同じ福岡県であり、その場所と一緒に生活をして、いろいろな経験もしました。この経験は、一生、決して忘れることはないと思います。

## ～親御さんからのメッセージ～

ガレットが経験できたことは、とても価値がある思い出深い経験となったようです。彼は帰国後も、福岡へ戻り、親戚や友だちと再会したいと話しています。

E

グループ



ルズスキー ニコール

Liszewski Nicole



【ハワイ福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

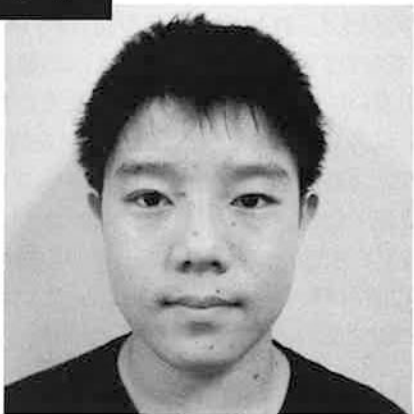
那珂小学校で、七夕祭りの短冊を書いて飾りました。私は、お父さんが無事にアフガニスタンの任務から戻ってきますようにと願いを書きました。私が一番好きだった活動は、ガールスカウトと少年ラグビーチームの子どもたちとの交流です。自分たちで作ったおにぎりはおいしかったし、そうめん流しは最高でした！その時に使った竹の器は今でも大切にしています。ホームステイも、特別な経験で、ホストファミリーはとても優しい方々でした。私は、祖父が生まれ育った福岡を見ることができて、とても嬉しいです。そして、その福岡でたくさんの新しい友達ができ、素晴らしい時間が過ごせました。別れのときはとても悲しく、もう少し皆と長く過ごしたかったです。新しい友達とはメールアドレスを交換したので、これからも連絡を取り合い、いつかまた会いたいです。世界中に友だちができたことを嬉しく思うし、来年、私の弟がこのプログラムに参加できるといいなと思っています。そうすれば、弟も日本文化を学ぶことができ、新しい友達を作り、私が経験した素晴らしい時間を過ごせると思います。

## ～親御さんからのメッセージ～

この事業は、娘にとって、信じられないほど素晴らしい機会となりました。帰ってきた彼女は、すごくエネルギーに満ち溢れていて、学んだことや新しい友達たちのことを興奮気味に話してくれました。今では、先祖が残してくれたものを更に理解し、日本の家族や文化にとっても感謝するようになりました。娘にこのような機会を与えてくれ、また、日本との初めての繋がりを持つ手助けをしてくださって、本当にありがとうございました。

F

グループ



能丸 紘右

Nomaru Kosuke



【ハワイ島福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は、今度福岡に行ったら、また小学校に行きたいです。なぜかという、日本の子どもたちに日本にはない遊びや授業の仕方を教えたり、一緒に遊んだりしたいからです。また、彼らがどういう遊びをするのかも、もっと知りたいです。そして、今回行けなかった皿倉山にも登りたいです。福岡では、トヨタ自動車九州工場の見学が面白かったです。ハワイでは工場見学はありません。ハワイに来る車は、ほとんどがアメリカ本土からきています。グローバルアリーナの食事はおいしくて、ハワイでは食べられない料理ばかりでした。私は将来、日本の大学に行き、社会や国語、そしていろいろなことを勉強したいです。

## ～親御さんからのメッセージ～

帰国後にすぐに気づいたのは自立の意欲です。大きな成長を感じました。また、福岡に対しては、単に「パパの出身地でおばあちゃんがいるところ」という認識から、自分により関係した場所という印象を持つようになったと感じます。先日福岡県のみやこ町から中学生がハワイ島に研修旅行にきましたが、そのときにも歓迎や途中の道案内や会食など、できる範囲の手伝いをしてくれました。また、みやこ町の中学生と一緒に遊んだり話をしたりして楽しい時間を過ごしたようです。このような、素晴らしい機会を紘右に与えていただき、本当にありがとうございました。また、このプログラムで紘右がお世話になった、福岡県国際交流センターの皆さんをはじめ、すべての方に感謝いたします。

F

グループ



イワサキ ジェイラス

Iwasaki Jirus



【ハワイ島福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は、このプログラムで日本の文化や歴史に触れることができ、多くのことを学びました。そして、博多祇園山笠についても、なぜ始まったのか、どのように祭りが開催されるのかを知ることができました。また、僕は曾祖父たちがハワイへ移住した背景や、福岡で住んでいた場所、多くの目標を達成してきた彼らの前向きな日本人の精神を体験し、見たかったので、プログラム中は、福岡の人たちとの触れ合いを楽しみました。そして、皆さんのたくさんの優しさに触れることができ、とても嬉しかったです。

ホームステイ先ではとても楽しい時間を過ごすことができました。ホームステイ先の兄妹たちとも仲良くなり、いろいろなゲームをしたり、日本語を教えてもらったり、初めて会った親戚たちでしたが、深い絆ができて、とても嬉しかったです。僕は、今回の体験を一生、素晴らしい思い出として大切にしたいと思います。みなさん、この機会を与えてくれて、ありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

私たちは、息子が福岡から帰国以降、日本語をよく使っていることに気付きました。そして、日本語を学ぶことに興味を持ち、習った言葉をすぐに使いたがります。また、彼は以前に増して日本の文化や歴史に関心を示しています。そして、それらの背景や意味を以前より理解し、さらに深く知りたがります。そんな息子を見て、一段と成長をして帰ってきたと実感させられました。彼はこの旅で大きな自信を持ち帰ったようですし、他の国からの参加者たちとの交流を通して、世界への視野や知識も広がったようです。ありがとうございました。

F

グループ



片山 イヴ こころ

Katayama Eve Kokoro



【バンクーバー福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、今回プログラムに参加したことで、福岡がどんなに素晴らしいところかわかりました。そして、友だちをいっぱい作れて、おいしい物を食べて、楽しいところに行くことができたので、私はラッキーですごく楽しかったです。初めてみんなに会ったときは、いろいろな国から来た様々なタイプの人たちがいることにびっくりして、誰とも友達になれないと思っていたけれど、最後には友だちがたくさんできて、帰る時には別れるのが寂しくて泣いてしまいました。このプログラムに参加して、本当に良かったなと思います。私は高校を卒業したら、大好きな日本で留学生になり、福岡に行って日本のことをいっぱい勉強したいです。このプログラムを作ってくれてありがとうございます。すごく楽しかったです！

## ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムに参加したことで、娘はこれまで以上に「高校を卒業したら日本に行きたい」という思いをより一層具体化させることができたことが一番の変化だと思いました。彼女は、今回のプログラムで県費留学生と共に過ごし、話を聞いたりする中で、日本の何処へ何をしに行きたいのかという具体的な目標を抱くところまで発展し、今後彼女の日本語学習に対する姿勢が大きく変わってくることを期待しています。また、プログラム終了後では自信に満ちた顔をしていたのが非常に印象的でした。そのせいか、新しい環境に対する免疫力がついたようで、9月から始まる新学期も、不安よりは期待のほうを大きく持てるような強さも備わった気がします。今後の成長がますます楽しみです。本当にありがとうございました。

F

グループ



マイヤーズ ミケーラ

Myers Mikaela



【サンフランシスコ福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

手すき和紙でのうちわ作りを教えてもらいました。そして、お寺がどのようなものなのかも見ることができました。信仰心がある人たちには、とても大切な建物だそうで、とても楽しかったです。また、おばあちゃんが生まれ育った町で、いろいろなことを経験することができました。

今回のプログラムに参加できたことで、たくさんの貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

娘は、帰国後に、日本での体験を嬉しそうに話してくれています。そして、日本で撮ったたくさんの写真を見せてくれました。このプログラムに参加したことで、ミケーラは、自分に日本人の血が流れていることを誇りに思うようになり、日本文化を良く理解できるようになりました。彼女がこのような体験ができたことを、心より感謝申し上げます。

# Report

参加者レポート

**【引率者】**



A  
グループ

齊藤 渡邊 ジュリアナ

Saito Watanabe Juliana



【ブラジル福岡県人会】

まず始めに、海外福岡県人子弟招へい事業に参加させて頂いた事をとても感謝しています。県費留学生として福岡へ行って以来、9年ぶりに福岡へまた行く事ができて、懐かしく嬉しかったです。福岡の皆様はとても親切で優しいと改めて思いました。また、いろいろな国の人達が日本文化についてどのように考えているのかを知る事ができました。

プログラムでは、2つの小学校を訪問した時に、日本の子どもたちが自ら小学校の掃除や給食の準備をしていたことが興味深かったです。その他、トヨタ自動車工場見学、茶道や梅ヶ枝餅作り体験、小倉城や博多祇園山笠見学など、日本は歴史や文化も大切にしながら、技術力もある素晴らしい国だと感じました。私は、多くの子どもたちがこのプログラムに参加できて、ふるさとを好きになり、福岡にまた行きたいという気持ちを持つ事を願っています。そして、国際交流にもっと関心を持って、福岡との絆を保って欲しいと思っています。最後に、ブラジルと日本の国際交流に協力できたことを嬉しく思います。

B  
グループ

清水 エステバン 博史

Shimizu Esteban Hiroshi



【ブラジル福岡県人会】

「子どもたちに日本と福岡の魅力を知ってもらうためのお手伝いをしたい」私は、この目的を持ってプログラムに参加しました。プログラムが過ぎてこの目標は完成されたと思います。子どもたちは、短い期間で日本文化を深く学ぶことができ、自分たちのルーツがある福岡で、様々な体験ができました。梅雨にもかかわらず、小学校やお寺、お城を訪問したり、子どもたちは元気いっぱい各活動に参加しました。多くの子どもたちは初めて訪れた日本で、初めて日本人と交流をして、言葉が通じないにもかかわらず、必死に自分の気持ちを伝えようとしていた姿に、私は感心しました。

今から数年後、ブラジル日系人は自分たちのルーツを忘れてしまい、祖先の故郷である日本への興味は完全に無くなる可能性が高いと思います。今回福岡県を訪問した子どもたちが、学んだことを多くの人に伝え、自分たちの国と福岡を繋ぐ架け橋になればと期待しています。そして周りの人たちに良い影響を与える立派な成人になって欲しいと思います。今回参加した子どもたちは、日本で忘れない日々を過ごして、嬉しそうに帰国しました。まだ子どもなので、自分がどんなに恵まれているかは分からないと思いますが、将来、このプログラムに参加したことが自分の人生に、どんなに重要なことだったかを理解できる日が来ると思います。また、私も、日本・福岡県を更に好きになりました。

Report [引率者]

C  
グループ



田中 マリア  
Tanaka Maria



【ペルー福岡クラブ】

海外福岡県人会子弟招へい事業に参加することができて、とても良かったです。忘れられない旅になりました。プログラム中に訪問した那珂小学校と自由ヶ丘南小学校の皆さんは、私たちが温かく迎えてくれて、子どもたちのために、短い時間で、できるだけ多くのことが体験できるようにプログラムを考えてくれたことが、本当に素晴らしかったです。参加した子どもたちは、日本の小学生と言葉が通じなくても、みんなで楽しく遊んでいましたが、もし日本語が少しでもわかれば、更に楽しかっただろうなと思いました。また、和紙のうちわ作りやトヨタ自動車九州工場見学、小倉城もきれいで中にはいろいろと面白いものがたくさんあり、全て楽しみながら勉強できました。太宰府天満宮では、子どもたちに参拝の仕方を教えて一緒にお参りをしました。博多祇園山笠も見学することができて、とても良かったです。宿泊施設のグローバルアリーナは、設備が良く、広くてきれいでした。また、プログラム期間中は、私たちと一緒に県費留学生が参加してくれて本当に助かりました。感謝しています。今までに日本各地へ行ったことがありますが、福岡県は私の祖父母の故郷であり、やはり私にとっては特別な場所です。「久しぶりに福岡に来た」のではなく、「久しぶりに福岡に帰ってきた」という感じがして、とても嬉しかったです。

Report [引率者]

C  
グループ



嶋田 アドリアナ  
Shimada Adriana



【コロンビア福岡県人会】

子どもたちは、皆さまの心温まる歓迎に、それだけで日本・福岡が好きになったのではないのでしょうか。12日間の短いプログラムでしたが、京都や奈良など有名な観光地への滞在とは違った経験をさせていただきました。七夕祭りへの参加や茶道、書道などの日本文化体験、トヨタ自動車九州工場見学などの福岡の最先端技術も見ることができました。

私たちは、私たちのルーツがある日本・福岡を忘れることなく、子どもたちに伝えていかなければならないと、心から痛感したプログラムでした。

今回お世話いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



D  
グループ

谷口 パトリシア  
Taniguchi Patricia



【アルゼンチン福岡県人会】

子どもの頃から、祖父母の国の文化を知ることが大切なことだと思っていたので、このプログラムを通してそのことを体験できたことは、とても貴重なことでした。日本文化や習慣だけでなく、福岡県に住んでいる親戚にも会うことができ、とても感動しました。また、日本の子どもたちと一緒に竹遊びや料理、七夕祭りにも参加できて、楽しい思い出をたくさん作りました。小倉城、太宰府天満宮、八女伝統工芸館などを見学して、日本の歴史にも触れることができ、勉強になりました。

プログラムで一番印象に残ったことは、小学校での交流です。アルゼンチンの小学校とはずいぶん異なり、日本の小学生は自分たちで学校の掃除をしたり給食の準備をしたり、驚きました。小さい頃から子どもたちに責任感を持たせるような活動をさせることは、教育に欠かせないことだと思いました。

また、他国の人たちと交流ができて、いろいろな意見を交換できたことも良かったです。アルゼンチン福岡県人会でも、他県人会の方々の意見を共有したいです。これからも、ますます福岡県との絆が深くなれば良いと思っています。福岡県と福岡県国際交流センターの皆様へ、心から感謝しています。

D  
グループ

川波 リサ  
Kawanami Risa



【在ボリビア福岡県人会】

私は6年前に県費留学生として、一度福岡県に行ったことがありますが、今回引率者として参加したことで、初めて体験することがたくさんありました。

例えば、七夕祭りで地元の方々や子どもたちと一緒に、キャンドルに火をつけたり、青少年団体との交流で竹馬に乗ったり、竹鉄砲を作ったりしました。那珂小学校や自由ヶ丘南小学校との交流では、みんなと一緒に給食を食べたり、掃除をしたりしました。八女伝統工芸館では、うちわ作りを体験し、職人さんたちがいかに手間をかけて作っているのかがわかりました。

あっという間の12日間でしたが、毎日充実した日々でした。子どもたちも最後の日まで疲れもせず、とても元気でした。このプログラムに参加できたことを、福岡県そして福岡県国際交流センターの皆様へ、心から感謝いたします。仲間や思い出という大切な宝物が増えました。ありがとうございました。

E

グループ



井上 清美

Inoue Kiyomi



【南加福岡県人会】

私は「海外福岡県人会子弟招へい事業」の引率者として参加するかどうか、初めはとても迷っていました。私は自分で子どもを育てた経験が無いので、11才の子どもの世話ができるかどうかがとても不安でした。前々から翔君の事は知っていましたが、出発の前のミーティングでも、ほとんど話さず口数が少なかったので「彼を楽しませる事ができるか」が心配でした。

しかし、このプログラムでは、一人の引率者が一人の子どもの面倒を見るのではなく、全引率者と留学生、スタッフが一緒になって面倒を見てくれたので非常に助かりました。通常ではありえない私と11才の子どもたち、留学生との旅を体験することができました。

ロサンゼルスを出発する時、翔君は、空港カウンターにあった七夕飾りに「楽しい旅になりますように」と短冊に書いて願いをこめました。このプログラム中、彼はずっと楽しそうにはしゃいでいたので、彼の願いが叶い、思い出深いものになったのではないのでしょうか。そして、私もこのプログラムを通して、いろいろな方との出会いがあり、これからもこの繋がりを大切にしていきたいと思います。

E

グループ



諫山 皓一

Isayama Koichi



【ハワイ福岡県人会】

相当なエネルギーと資金を投入され、このような有意義な事業を遂行されることは、海外に移住した県民とその子弟を真摯に応援頂く姿勢の現れと認識し、感謝感激すると共に敬意を表します。

幸いにも、この事業に参加させて頂けた全員が、故郷の文化や伝統に触れてこれを引き継ぐと同時に、自己を作った過去の世代を改めて考える機会をも与えてくれました。いかに被移民国と福岡、そして日本との架け橋になり得るかなども含めて、両国の理解と親善に努め得るのか、考えなければなりません。その意向は、各国の引率者からも感じ取れました。

グローバルな時代です。島国の日本は他国以上に国際人、世界市民になる努力が必要で、世界を舞台に活躍できる人材の養成も重要だと痛感します。その意味でも、当事業のような数々の交流事業を通じて、将来を担う若者の視野を世界に向けた大切な教育を重要視している故郷の福岡県、そしてそれぞれの分野で懸命に貢献されている県民のみなさん、そして当事業を成功させられた関係者に感謝の言葉もありません。

多くの被移民国の11歳にとって、初めて親元を離れて、遠路先祖の故郷に里帰りする気持ちや影響は計りかねますが、彼らの胸の中で、生涯の大切な思い出として生き続けることは、間違いのないでしょう。また、僅か2週間弱の滞在中の子どもたちの成長ぶりにも、目を見張らせるものがあり、引率者としては、とても嬉しいことでした。ありがとうございました。私個人としては、福岡とハワイの交流に貢献したい所存です。

F

グループ



フジヤマ スタンリー

Fujiyama Stanley



【ハワイ島福岡県人会】

私がこのプログラムを通して気づいたことは、日本の文化と伝統は、未だに大切に守られ尊敬され続けられていて、今日の社会に強い影響を与え続けているということです。

また、印象的だったのは、小学校訪問でした。日本の小学校では、みんなが校舎の入り口で靴を脱いで、子どもたちが自分たちで給食の準備から後片付けまでをして、そして教室の掃除も自分たちでしていました。このような責務は、良い人間形成の基礎を作り出す過程だと思うし、子どもたちの教育環境にとって、とても重要な役割を果たしているのだとわかりました。

私の妻は、教師として小学校5年生の担任をしているので、彼女に今回私が日本の小学校で学んだことを伝えて、ハワイの教育の発展につなげていければと思っています。

また、国は違うけれど、日本の子どもたちは、ハワイの子どもたちと同じように、生命に満ち溢れ、好奇心と遊び心がたくさんあって、とても元気な子どもたちでした。

このような貴重な学習ができる機会を与えていただき、ありがとうございました。

F

グループ



片山 七

Katayama Nana



【バンクーバー福岡県人会】

このプログラムに参加して、色々な意味で「カルチャーショック」を受けました。

まず、南米の日系2世、3世の方々があまりにも「日本人」であること。細かい仕草、時間に正確であったことなど、全てが日本で生まれ育った私と何一つ変わりませんでした。もちろん、他人への気遣いや思いやり、集団行動力なども当たり前前に存在し、外国で生まれ育った日本人がここまで日本人らしいものかと、文化的に大きなショックを受けました。また、福岡県がこれほど移住者や福岡県人会をサポートしてくださり、子どもたちのグローバル化を率先して進めている県の1つであること、県と他国との横のつながりを大切にされている県であることを初めて知り、私の故郷がこんなに素晴らしいということを再認識できました。

今回、多くの仲間ができ、その仲間を通して、他国の福岡県人会の規模や運営方法、後継者育成問題への取組みなどに関する情報交換ができたこと、そして12日間をともに過ごした「仲間」との横のつながりは、参加したからこそ得ることのできたもので、バンクーバー福岡県人会への糧となることと思います。また今回、県費留学生と過ごした時間は、子どもたちの心にとっかりと足跡を残し、それぞれの国に帰って行った子どもたちの、新しい夢へとつながる軌跡になってくれたものと確信しています。今回の事業参加で得たもの、学んだものは予想以上に大きく、この経験を単に私の思い出とするのではなく、今後の県人会の更なる発展に役立てていかなければという使命感でいっぱいです。

# Report

参加者レポート

**【福岡県移住者子弟留学生】**

A  
グループ

樋口 ミシェル 優一

Higuchi Michel Yuiti



【ブラジル福岡県人会】

このプログラムで知り合った子どもたちとは、短い期間でしたがとても楽しい時間を過ごせました。最初は、疲れそうだし面倒だなと思っていましたが、子どもたちはとても素直で明るくて、かけがえのない時間を過ごせたと思います。

プログラムの中でも特に、参加者と日本の子どもたちとの交流が、とても良かったです。子どもたちは、言葉も通じず、文化も全く違いますが、どの国の子どもも、仲良くなりたいという気持ちは同じだと思いました。

今回は、7カ国から集まった参加者同士の交流も素晴らしかったです。一緒にバスに乗り、同じ部屋で寝泊りをして、母国語が違って子どもたちはすぐに仲良くなり、楽しんでいました。プログラムが終わる頃には、みんなの絆が深くなっていました。空港で交わした「さようなら。また会おう!」という言葉は心に響きました。子どもたちの笑顔は、一番印象に残っています。今後、子弟招へい事業のことを思い出すときは、一番に子どもたちの笑顔を思い出すと思います。

A  
グループ

稲田 美穂 ナージャ

Inada Miho Nadia



【トメアス福岡県人会】

子弟招へい事業に参加できて、とてもラッキーでした。短い期間でしたが、新しい事をたくさん学びました。他国の人たちと出会えて、友達が増えました。

グローバルアリーナでは七夕祭りが開催され、ろうそくに皆で火を点す手伝いをしました。それを見て、日本人はみんなで力をあわせて一つのことを行うことがとても上手だと思いました。また、知事・議長表敬では、少し緊張しましたが、お二人とも優しくて明るい方でした。私たち皆に声をかけてくださり、忙しい中、多くの時間を作ってくれて、とても光栄でした。このプログラムで2つの小学校を訪問した時は、日本の小学生たちが、給食の準備や学校の掃除などを自分たちでしていることに、とても驚きました。このプログラムでは、国や母国語、年齢が異なっていたとしても、誰もが友達になることができることを学びました。

多くの思い出と友達を作ることができ、今後もこの事業が続いていくことを願っています。参加する子どもたちだけのためではなく、県費留学生にも大きな影響を与えてくれる事業です。新しいことを経験して、日本の習慣や文化を直接学ぶことができるし、ホームステイなどを通して、自分のルーツがある福岡を知る良い機会です。年々参加者が増えていくことで、日本と他国との架け橋が次第に強くなっていくことが感じられると思います。

B

グループ



中尾 カロリーネ きみえ

Nakao Caroline Kimie



【ブラジル福岡県人会】

来日前から「海外福岡県人会子弟招へい事業」のことを先輩から聞いて、ずっと楽しみにしていました。実際に過ごした12日間は、ワクワクして、すごく楽しい日々を過ごせました。

いろいろなところへ行ったり、体験をしたりして、子どもたちだけではなく私にとっても、勉強になりました。福岡市民防災センターで地震や強風体験をしたり、博多祇園山笠を見学したり、太宰府天満宮では梅ヶ枝餅を作ったり、初めての体験ばかりで嬉しかったです。

その中でも一番印象に残っていることは、那珂小学校との交流です。夏の蒸し暑い天気の中大変でしたが、一日中、日本の小学校にいて、日本文化をいっぱい教えてもらいました。日本の子どもたちと教室の掃除、書道、私の大好きな茶道や和太鼓の体験ができました。

このプログラムに参加したことで、留学生活から少し離れて、新しい出会いがたくさんあり、日本のことだけではなく、他の国のことも学びました。参加者全員と仲良くなり、皆が帰国する際はとても寂しかったです。今回、日本文化や福岡のことを深く知ることができて、感謝しています。子どもたちと笑顔で作った良い思い出は、絶対忘れません。心から本当にありがとうございました。

B

グループ



平山 英子 カロリナ

Hirayama Eiko Carolina



【ブラジル福岡県人会】

子弟招へい事業に参加して、とても良い経験になりました。福岡のいろいろな名所を訪ねたり、日本文化を学んだり、美味しい日本食を食べたり、新しい友だちを作ることができました。子どもたちはとても元気で、大雨の日でも皆楽しんでいました。子どもたちは、ほとんど日本語が理解できませんでしたが、言葉が通じなくてもすぐに皆が仲良くなりました。

特に印象に残っているのは、那珂小学校との交流です。私は、ブラジルで日系の学校に通っていたことがあります。那珂小学校で一日を過ごして、小学生と一緒に給食を食べたり、スポーツをしたり、掃除をしたりしました。子どもの頃のことを思い出して、懐かしかったです。また、太宰府天満宮では、10年前に父が太宰府天満宮で買ってきてくれたお守りのことを思い出しました。同じお守りが売られていて、父もこの場所に来たのだと感慨深かったです。福岡市民防災センターでは、ブラジルでは地震があまりないので、シミュレーションで少しでも地震の恐怖を感じることができて、重要な体験でした。

このプログラムは、子どもたちにとって、初めて日本文化に触れる絶好の機会だと思います。皆に出会えたことに感謝していますし、いつかまた会える日を楽しみにしています。この素晴らしい経験ができたことを、嬉しく思っています。



C  
グループ



タナベ グティエレス アルド

Tanabe Gutierrez Aldo



【ペルー福岡クラブ】

子弟招へいプログラムは、とても面白くて思い出がいっぱいできたイベントでした。12日間でたくさん笑って、参加者と一緒に様々な新しい経験ができました。また、県費留学生同士もいつも以上に一緒にいる時間が多かったので、たくさん話をしました。

那珂小学校では、引率者からのプレゼンテーションや、学校の掃除、小学生と一緒に給食を食べたりして、面白かったです。特に給食の時間は、日本の小学生が自分たちで給食の準備や、片付けをしている姿を見て、「さすが日本だ!」と思い、驚きました。

最終日の夜には、参加者の出発準備を手伝いながら、皆で最後の大切な思い出を作りました。空港で皆を見送ったときは、とても寂しかったです。しかし、短い期間でしたが全員がとても仲良くなったので、新しい家族ができたような気持ちになり、幸せでした。私がペルーに帰国する時には、ペルーからの参加者と会えるのを楽しみにしています。

12日間、本当にありがとうございました!皆の笑顔や笑い声は、絶対に忘れません!

C  
グループ



小椋 恵子

Omuku Keiko



【コロンビア福岡県人会】

プログラムに参加する前は、多くの子どもたちの相手をするのは、面倒で退屈だろうと思っていましたが、始まってからは、とても楽しくて面白くて、とても勉強になるプログラムでした。

また、このプログラムを通して、私は様々な体験ができて、福岡県や日本文化について更に学ぶことができました。7カ国からの参加者全員と友達になることができ、素晴らしい機会となりました。

プログラムでは、手すき和紙でうちわを作ったり、和太鼓を演奏したりする機会もありました。太鼓はあまり上手にできませんでしたが、楽しかったです。

また、宿泊施設のグローバルアリーナは、とても広々としていて美しく、快適でした。グローバルアリーナであった七夕祭りでは、キャンドルの点灯をお手伝いして、とてもキレイでした。

小川県知事と松本県議長にお会いしたときは、とても緊張しました。県庁や議会等を訪問できたことは、貴重な機会でした。

このプログラムで、多くの思い出を作ることができて、楽しかったです。

D  
グループ

原田 ミカエラ

Harada Micaela



【アルゼンチン福岡県人会】

子弟招へい事業では、多くの大切なものを得ることができました。子どもたちと引率者たち、国際交流センターのスタッフの皆さんと多くのことを経験して、非常に楽しい日々を過ごせました。

一番印象的だったことは、全スケジュールがスムーズに進められたことです。これは、スケジュールの計画がとても良かっただけでなく、子どもたちがイベントに好意的に反応したからだと思います。特にこのことを感じたのは、那珂小学校と自由ヶ丘南小学校での交流の日でした。

子どもたちは、言葉が通じなくても、差し伸べてくれる手には、その優しさに笑顔で返すことができていることが不思議であり、とても印象的で素晴らしいことだと思いました。

12日間、7カ国からの参加者と過ごすことができ、尊い機会でした。国籍の向こうには同じ日本人の血が流れている子孫たちがいて、私たちには特別な絆があると信じたいです。そして、これからこの19人の子どもたちが成長するのを楽しみに待ち、いつかこのプログラムに参加した皆さんたちと、また会えるように祈っています。この貴重なチャンスをくださいました国際交流センターの皆様、関係者の方に心より感謝申し上げます。

D  
グループ

川波 一幸

Kawanami Kazuyuki



【在ボリビア福岡県人会】

私は県費留学生として来日して以来、この子弟招へいプログラムに参加出来たことが一番嬉しかったです。プログラム中はとても暑い毎日でしたが、炎天下でも子どもたちは毎日元気が良く、私たちにたくさんの笑顔をプレゼントしてくれました。

このプログラムは、参加する子どもたちに、自分の中には福岡県の血が流れていることを再認識させ、日本・福岡の事を好きになってもらうための、大切な事業だと思います。僕たちは、その手伝いをする事ができたと思います。

今回参加した子どもたちは日本に来られた事をとても喜んでいました。特に小学校交流の時は、日本の小学生と言葉が通じなくても、彼らは何とかがしてコミュニケーションを取り、楽しそうに遊んでいました。また、太宰府天満宮での梅ヶ枝餅作りも人気がありました。

プログラムの最後に、子どもたちに「また福岡に戻って来たい?」と聞いてみると、「戻りたい!」と元気な声で答えてくれましたし、中には「帰りたくない」という子どもたちもいました。これから日本語の勉強を頑張ったら、次は、県費留学生として福岡に戻って来られると伝えると、喜んでいました。このプログラムは、とても忙しい日々と同時にとても楽しい日々を残してくれました。



E

グループ



山本 ケリー 真由美

Yamamoto Kelli Mayumi



【南加福岡県人会】

このプログラムはとても楽しかったです。私は子どもが大好きなので、参加した子どもたちも、とてもかわいく、楽しい日々をすごしました。プログラムはとても忙しかったですが、子どもたちにとっては、短い期間で多くの場所を訪問し、体験することができるので、良いことだと思います。日本の子どもたちとの交流も、とても良かったです。言葉が通じなくても、いつのまにか一緒に遊んでいて、皆がすぐに仲良くなり、私も嬉しくなりました。

このプログラムで、11歳前後の子どもたちが福岡県へ来ることは、素晴らしいことです。早いうちから、自分たちのルーツが福岡県にあることを理解できるからです。私も、もっと早く自分のルーツを知りたかったし、ルーツを知ることで、日本語への興味も早くから持てたと思います。

そして、今回参加した子どもたちが、このプログラムを通して福岡県に更に興味を持ち、将来県費留学生として福岡に戻ってきてくれると良いなと思っています。

また、私は将来、教師になりたいと思っていますが、どのような教師になりたいのかイメージできていませんでした。しかし、このプログラムで私は、11歳前後の子どもたちが一番好きだということに気づきました。将来は、今回学んだことを生かして、教師を目指していきたいと思っています。

F

グループ



立花 操

Tachibana Misao



【サンフランシスコ県人会】

この12日間は、子どもたちだけではなく、私自身にとっても福岡県の事をたくさん学ぶことができ、一生に一度の良い経験になりました。

私は、このプログラムで、子どもの純粋な言葉と表情の大切さに気づきました。彼らは、母国もバックグラウンドも関係なく、皆様々に新鮮な考えを持っていることに、感動しました。また、このようなプログラムは、ほとんどの子どもにとって初めての体験で、彼らの将来に繋がっていく重要な体験だと思います。福岡県との繋がりをもつ国際人として、将来福岡県とそれぞれの母国との架け橋になるために、若い人たち同士の楽しい交流はとても大切です。言語が違って笑顔や表現で通じ合うことを知ることは、将来のグローバル社会において、非常に大切なことだと思います。

そして、那珂小学校での、同じ年齢で、日本人の血を持つ参加者子弟と那珂小学校の子どもたちの交流はとても印象的でした。お互いに助け合い支え合う姿は、そこでしか見られない光景でした。

お別れの日には、参加者と留学生の顔には笑顔と涙がありました。この短期間で、様々な経験や新しい友情がどんなに皆の心に響いたのかが、よくわかりました。このプログラムでできた多くの思い出は一生ものです。

# 福岡県の海外県人会について

## 福岡県の海外移住

### (1) 海外移住の始まり

明治18年(1885年)のハワイ移住により始まりました。

### (2) 海外移住者総数(自由移民を含まず)

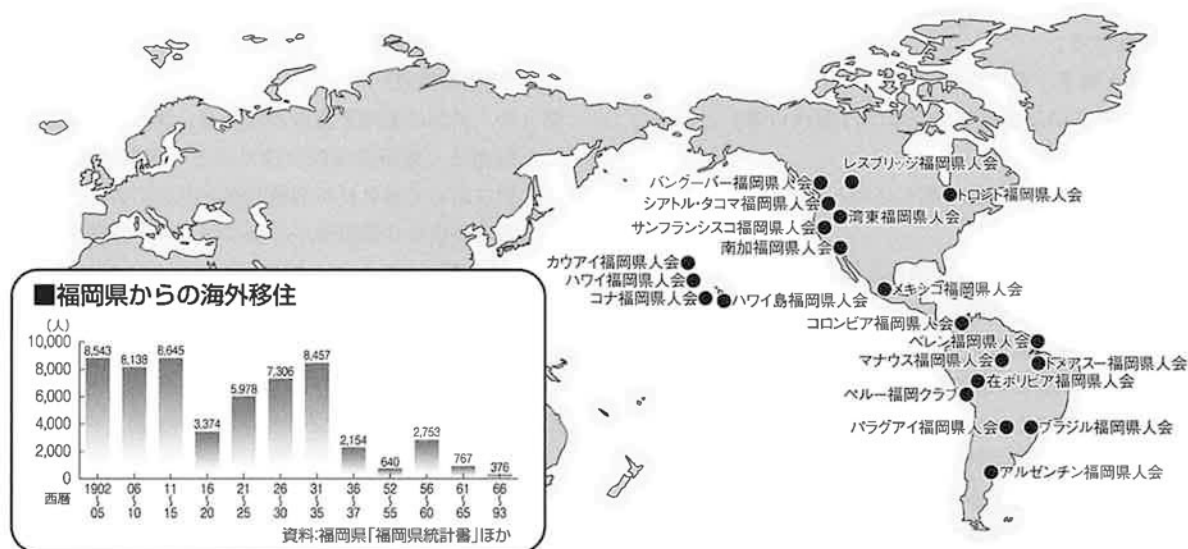
戦前(明治32年から昭和16年) 51,240人(全国比7.8%)

戦後(昭和27年度から平成5年度) 4,536人(全国比6.2%)

※戦前・戦後計 55,776人(全国第4位)

第1位	広島	98,975人
第2位	沖縄	79,454人
第3位	熊本	72,699人
第4位	福岡	55,776人
第5位	山口	47,430人

## 海外の福岡県人会



アルゼンチン共和国	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ島福岡県人会
ボリビア多民族国	在ボリビア福岡県人会		バンクーバー福岡県人会		カウアイ福岡県人会
ブラジル連邦共和国	ベレン福岡県人会	コロンビア共和国	コロンビア福岡県人会		コナ福岡県人会
	ブラジル福岡県人会	メキシコ合衆国	メキシコ福岡県人会		南加福岡県人会
	マナウス福岡県人会	パラグアイ共和国	パラグアイ福岡県人会		サンフランシスコ福岡県人会
	トマスス福岡県人会	ペルー共和国	ペルー福岡クラブ		シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ福岡県人会		湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会

## 海外福岡県人会子弟招へい事業 実施要綱

### (目的)

第1条 海外福岡県人会会員の子弟を本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図るものである。

### (事業の実施)

第2条 この事業は、関係機関で構成する海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する。

2 実行委員会は、国際交流局交流第二課長、青少年課長、義務教育課長、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって組織する。

3 実行委員会の委員長（以下「委員長」という。）は、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって充てる。

### (会議)

第3条 実行委員会は、委員長が必要に応じて開催する。

2 実行委員会は、第4条に規定する事業について協議し、決定する。

### (事業)

第4条 実行委員会は、海外福岡県人会子弟招へい事業（以下「招へい事業」という。）の実施にあたり、次のことについて協議し、決定する。

- (1) 事業計画と事業予算の決定
- (2) 招へいする子弟及び引率者（以下「招へい者」という。）の決定

(3) その他、この事業の実施に関し必要と認められる事項

### (招へいする子弟の条件)

第5条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的を理解していること
- (2) 海外福岡県人会会員の子弟であること
- (3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること
- (4) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
- (5) 心身共に健康であること
- (6) 日常の身の回りのことが一人でできること
- (7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること
- (8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること
- (9) 以前に当プログラムに参加したことがない子弟であること

### (引率者の参加条件)

第6条 招へいする子弟は引率者が帯同するものとする。

2 引率者は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的をよく理解していること
- (2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること
- (3) 海外福岡県人会の会員であること
- (4) 招へいする子弟の原則祖父母、父母、兄、姉、伯父（叔父）、伯母（叔母）ではないこと
- (5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること

(6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること

(7) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること

(8) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること

(9) 以前に当プログラムに参加したことがない引率者であること

### (申請書の提出)

第7条 招へい事業の参加希望者は、招へい事業参加申請書（様式第1号）もしくは引率申請書（様式第2号）に親権者の承諾書（様式第3号）を添え（親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要）、海外福岡県人会長（以下「県人会長」という。）に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請者の提出があったときは、推薦書（様式第4号）を添えて、委員長に提出するものとする。

### (招へい者の決定)

第8条 委員長は、実行委員会の中に、招へい者を決定するため、海外福岡県人会子弟招へい者等選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置する。

2 委員長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。

3 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書（様式第5号）を交付する。

### (選考委員会)

第9条 前条の選考委員会の委員は、国際交流局交流第二課長と財団法人福岡県国際交流センター専務理事とする。なお、必要に応じて委員長が別途委員を指名することができる。

2 選考委員会は委員長が必要に応じて開催する。

### (経費)

第10条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

### (事務局)

第11条 実行委員会及び選考委員会の事務を処理するため、事務局を財団法人福岡県国際交流センターに置く。

2 事務局長は財団法人福岡県国際交流センター事務局長をもって充てる。

### (その他)

第12条 この要項に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年1月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成21年2月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成22年2月8日より施行する。

# Short Term Visit Program for Young Descendants of Immigrants from Fukuoka Prefecture 2012.7.6 ~ 17

平成24年度 海外福岡県人会子弟招へい事業 報告書

主催◎海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

発行◎平成25年2月